

平成28年度事業計画

1. 基本方針

公益財団法人やわた市民文化事業団は、八幡市の中核的文化施設である八幡市文化センターと松花堂庭園・美術館の指定管理者として、文化芸術の振興並びに伝統文化の継承普及活動により、八幡市に於ける豊かな魅力ある市民生活の発展に寄与することを使命としています。

第4次八幡市総合計画後期基本計画で掲げられている目標の1つである「次代を担う人づくりを進め、文化芸術を守り育てるまち」づくりに貢献すべく、教育委員会並びに文化協会と連携・協働し、文化芸術活動の促進に努めます。

また、平成28年度は当事業団が公益財団法人へ移行して5年目を迎え、同29年度には次期指定管理者の選考が行われます。改めて当事業団の存在意義を踏まえ、効率的効果的な活動を推進して指定管理者としての更なる実績を確立します

八幡市文化センターに関しては、舞台設備操作、自主事業企画の専門的な経験、技術、知識を駆使して、優れた舞台芸術の鑑賞機会を市民に提供するとともに、舞台機能を有効に活かすことにより利用者の満足度を高めるよう努めます。また、施設設備の老朽化に伴い、改修が必要となっており、市において作成された「リニューアル計画」に基づく改修工事の円滑な推進に協力します。

松花堂庭園・美術館に関しては、観光関連事業者や一般社団法人八幡市観光協会と連携し、スマホ等も活用した効果的な宣伝を行うことにより、集客と利用者の増加に努めるとともに、老朽化している書院の改修と美術館別館の今後のあり方等を検討する市の取り組みに協力します。

以上を基本方針とし、八幡市文化センターと松花堂庭園・美術館にお

いて石清水八幡宮の国宝昇格や「お茶の京都」等に因んだ行事を織り込みながら、次のとおり事業を実施してまいります。

2. 八幡市文化センターの管理運営

文化センターの運営管理は、主催事業の実施、施設利用の促進、施設の管理に大別されます。

まず、主催事業については、①「鑑賞型事業」（音楽、演劇、舞踊等の公開及び美術工芸作品等の展示）、②「参加・創造型事業」（市民文化の創造・振興及び文化団体との協働の事業）を基本的な2本柱として実施します。

それぞれの事業内容は別葉のとおりですが、主な事業として現在取り組んでおります「ごこば・八方・米團治三人会」、そして、「こどもクリスマスコンサート（京都府補助金申請予定）」、第25回を迎える「邦楽のつどい」、「イブニングロビーコンサート」等を計画しています。また、国民文化祭継承事業「おやじたちのコンサート」にも実行委員並びに事務局として取り組みます。

いずれの事業においても、公立施設としての使命を踏まえ、鑑賞又は参加される全ての人々に大きな感動と達成感を実感していただける事業内容となるように展開するとともに、国や京都府、その他補助金交付団体の助成を求め、収支のバランスに心がけて取り組みます。さらに、公益財団法人が運営する施設として、これまで以上に市民の文化振興に資する拠点としての役割を果たせるような事業を、八幡市文化協会等の協力を得ながら実施してまいります。

施設利用の促進については、関西随一の優れた音響効果と広い舞台設備を備えた大ホールの特質を活かし、利用者に繰り返しお使いいただけ

るように、技術力の高い舞台技術職員を始め、全職員が一丸となって、より親切で丁寧な対応に心がけていきます。また、練習室などの諸室については、指定管理者として許容される範囲内で柔軟に対応し、より一層の利用促進に繋がるよう工夫に努めます。

施設の老朽化に伴う必要不可欠な改修については、市民・利用者の快適で安全安心な利用のために、設備の点検、小修理に留意しながら、市において実施される改修工事が計画的に進められるよう市担当課と連携してまいります。

3. 松花堂庭園・美術館の管理運営

国の名勝に指定を受けた、史跡「松花堂」や「泉坊書院」を中心とする庭園及び3棟の茶室など、施設の特徴を活かし茶道、華道、書道等の伝統文化を育む場として、また、美術館では、松花堂昭乗の功績を顕彰するとともに、美術、工芸等の芸術振興に資する事業を展開します。合わせて、石清水八幡宮の国宝指定を機会に、石清水八幡宮と連携を深め市を代表する観光施設としての活用も図ります。

まず、主催事業について、それぞれの事業は別葉のとおりですが、庭園事業では、庭園の特徴を活かし、春、恒例の「つばき展」をはじめ、「日曜茶席」や「七夕茶会」、秋の「松花堂忌茶会」や高校生による「学生茶会」、小学生を対象とした「茶道・華道体験 わくわく教室」、「松花堂書道教室」や「新春書初め席書大会」、市民の出品による「書初め・席書大会 合同作品展」などを開催し、伝統文化振興事業と次世代を担う育成事業に取り組みます。

美術館では、春季展として岐阜県現代陶芸美術館の協力で開催する「麗わしのマイセン」展を、秋の特別展では、石清水八幡宮本殿の国宝

指定を記念して石清水八幡宮のご神宝を紹介する「祝・国宝指定記念 石清水八幡宮展（仮称）」の開催を計画しています。その他にも、収蔵品を活用した「館蔵品展」の開催を予定しております。展覧会開催中には、講演会やギャラリートークを行い、展覧会の内容が深まるよう努めます。松花堂昭乗研究所事業に於いては、定例講座による研究支援と特別講演会や研究報告会を行い、市民への学習機会の場を設けます。

利用者の誘致・拡大につきましては、府観光連盟や市観光協会、石清水八幡宮、近隣類似施設や観光施設と連携しながら引き続き、観光客の集客に向け営業活動を展開して行きます。また、世界遺産登録に向けて推進されている、「お茶の京都」への取組についても、市と連携して進めて行きます。

施設管理につきましては、施設全体の営繕に努めるとともに、八幡市が計画されている営繕工事が円滑に実施されるよう協力をして行きます。